



【平成 29 年度】
平成 28 年 9 月～平成 29 年 8 月



作成日 平成 29 年 11 月 30 日
改訂日 平成 30 年 1 月 25 日

目次

1 事業概要

【1】	事業者名及び代表者名	P 1
【2】	所在地	P 1
【3】	環境保全関係の責任者及び担当者連絡先	P 1
【4】	事業内容	P 1
【5】	事業規模	P 1
【6】	認証・登録事業範囲	P 2
【7】	許可の概要	P 2
【8】	所有車両	P 2
【9】	機器・設備	P 3
【10】	受託した産業廃棄物量の今年度までの現状	P 3
	①H29年度 受託した廃棄物収集運搬量	P 3
	②受託した産業廃棄物の収集運搬量の実績	P 3
【11】	EA推進体制図	P 4
2	環境方針	P 5
3	環境負荷の現状	P 6
4	5ヶ年環境目標（H25年度～H29年度）	P 7
5	環境活動計画（H28.9～H29.8）	P 8
6	今年度の実績と評価（H28.9～H29.8）	P 9～P 10
7	今年度の環境活動計画の取組と次年度の取組	P 11
8	環境関連法規制の遵守	P 12
9	代表者による全体の評価と見直し	P 13

1. 事業概要

【1】◆事業者名及び代表者名◆



株式会社リペア

昭和 56 年 9 月 10 日設立

代表取締役 植田 慎一郎

【2】◆所在地◆

本社 〒702-8002

岡山県岡山市中区桑野 480-10

【3】◆環境保全関係の責任者及び担当者連絡先◆

責任者 環境管理責任者 (植田 慎一郎)

担当者 環境管理事務局 (植田 由美)

連絡先 TEL 086-274-1488

E-mail repair.s-u@ce.wakwak.com

【4】◆事業内容◆

再生資源物及び廃棄物の収集運搬業

(積替え保管あり)

積替保管施設 面積 72.6 m² 保管上限 97 m³

【5】◆事業の規模◆

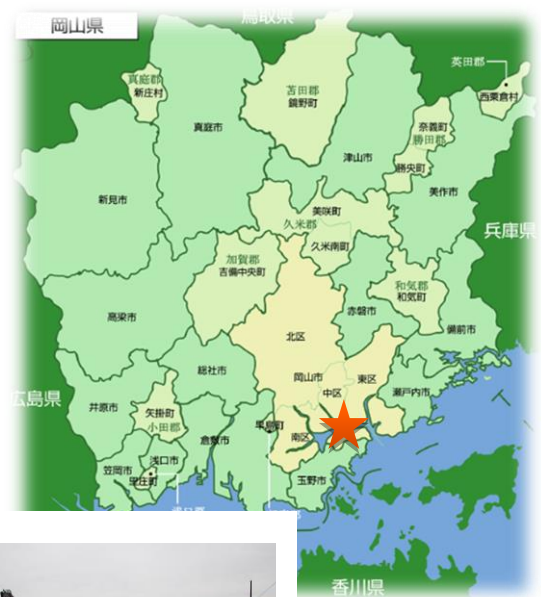
資本金 1,000 万円

事業年度 9 月 1 日～8 月末日

売上高 売上高区分 A, 5 億円未満(第 36 期 H28.9.1～H29.8.31 実績)

従業員数 5 人(アルバイト含む) うち 1 名は他社出向の為、EA21 対象人は 4 名

事業所延床面積 1,421.18 m²



【6】◆認証・登録事業範囲◆

- 1.事業所 株式会社リペア
 対象事業者所在地 〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野 480-10
 対象事業所 本社
 2.事業活動 一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、金属屑商

【7】◆許可の概要◆

■産業廃棄物収集運搬業許可■

	許可番号	許可年月日 有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	産業廃棄物処理物
岡山市 積替保管有	8310012452	H26.1.31 H31.1.30	●	●	●		●		●				●	●	●		●				
岡山県	3301012452	H26.1.31 H31.1.30	●	●	●		●		●				●	●	●		●				
兵庫県	2804012452	H28.1.22 H33.1.21					●	●	●					●	●		●				

■一般廃棄物収集運搬業許可■

- ・岡山市 第4003号 許可年月日 平成28年4月1日
 有効期限 平成30年3月31日

■金属屑取扱業許可■

- ・岡山県 185 許可年月日 昭和57年3月30日

■古物商許可■

- ・岡山県 7211300008904 許可年月日 昭和57年3月30日

■計量証明事業登録■

- ・岡山県 第2-0154号 登録年月日 平成20年3月6日

【8】◆所有車両

- 収集運搬車両 脱着装置付コンテナ専用車 …3台
 塵芥車 …1台
 1.5t フォークリフト …1台
 営業車 …2台

【9】◆機器・設備◆

- ・エネルギー分散型蛍光X線分析装置 EDX-900HS ……1台
- ・携帯型金属成分分析計 XLt-898SW ……1台
- ・貴金属テスター GK-2000 ……1台
- ・40tトラックスケール ……1基

【10】受託した廃棄物の処理量の今年度までの現状

① H29年度 受託した廃棄物収集運搬量

一般廃棄物収集運搬量(t)				産業廃棄物収集運搬量(t)				
ダンボール	本	缶	厨芥ごみ	金属くず	がれき類	木くず	廃プラスチック	ガラスくず
43.08	0.83	2.21	79.29	213.5	14.49	42.46	21.7	76
125.41				368.15				

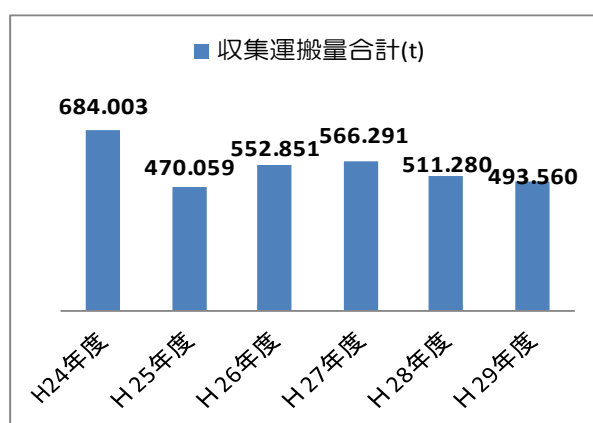
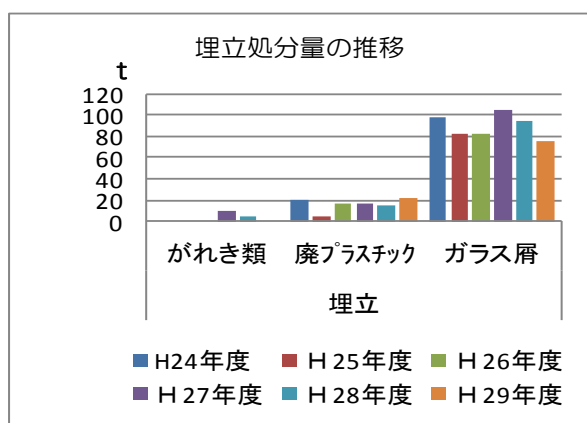
② 受託した産業廃棄物の収集運搬量の実績

処理方法	再生利用							熱回収	埋立			収集運搬量合計 (t)
品目 数量(t)	紙屑・缶	金属屑	発砲スチロール	がれき類	廃プラスチック	木屑	廃油	厨芥ゴミ	がれき類	廃プラスチック	ガラス屑	
H24年度	75.205	314.77	0	0	10.452	15.725	0	150.9	0	19.95	97	
H25年度	71.77	180.13	0	0	4.55	13.48	0	113.88	0	4.247	82	
H26年度	62.25	237.61	0	0	0.952	54.53	0	99.36	0	15.75	82.4	
H27年度	41.51	254.6	0	1.04	0	46.75	0	90.24	10	17.15	105	
H28年度	42.06	196.73	0	0.4	0	62.15	0	97.17	3.77	14.00	95	
H29年度	46.12	213.5	0	14.49	0	42.46	0	79.29	0	21.70	76	
H29年度 処理方法別	316.570t							79.29t	97.70t			
	64%(リサイクル比率)※							16%	20%(埋立比率)			100%

※H29年度収集運搬総合計を100%として

リサイクル比率＝H29年度再生利用合計数量／H29年度収集運搬量合計数量*100

埋立比率＝H29年度埋立合計数量／H29年度収集運搬量合計数量*100



【11】EA 推進体制図



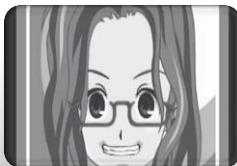
統括責任者

- 環境管理責任者を任命する。
- 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源を準備する。
- 環境方針を制定する。
- 環境経営システムの構築・実施に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い、必要に応じて改定を指示する。
- 環境目標・環境活動計画及び環境レポートの承認をする。



環境管理責任者

- EA21の要求事項に適合したシステムを構築し、維持を確立する。
- 苦情・要望等の処理全般。
- 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施。
- 緊急事態の想定と対応手順書の制定及び訓練の実施。
- 環境目標及び環境活動計画の策定。
- 環境レポートの作成



EA事務局

- 事務局として環境管理責任者を補佐し、環境経営システムに関する事務全般を行う。
- 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の確認をする。
- 教育・訓練計画の策定を実施する。
- 緊急事態の想定と訓練の記録及び対応手順書の改訂をする。
- 環境文書及び記録の作成と管理をする。



各部門管理者

- 自己の管理範囲における実施責任者として、全員参加による環境経営システムの実施及び責務を負い、パフォーマンスの向上を図る。
- 環境目標及び実施項目に対する問題点の是正を実施する。

2. 環境方針

【基本理念】

株式会社リペアは、再生資源物及び廃棄物の収集運搬業者として、環境に配慮した収集運搬業務に心がけ、かつ再生資源物及び廃棄物のリサイクル推進活動を行い地球環境保全に配慮し、以下の環境行動方針を定め、全ての事業活動を通じてその実現に取り組みます。

【環境保全への行動方針】

1. 環境負荷低減のために環境循環に配慮した事業活動に努めます。

具体的な取り組み項目

(1) 二酸化炭素の排出削減

- ① 収集運搬車両の燃料消費量の削減
- ② 電力使用量の削減

(2) 廃棄物の排出削減（リサイクル率の向上）

- ① 廃棄物排出事業者に対しての分別及びリサイクルの推進・情報提供
- ② リサイクル先の開拓

(3) 水資源使用量の削減

節水活動

(4) グリーン購入の推進

環境負荷の少ないエコ商品の優先購入

2. 環境保全に関する上記取り組み項目について目的・目標を設定し、結果を点検・評価し、環境マネジメントシステムの継続改善に努めます。
3. 環境関連法規、関係する法令・規制を遵守します。
4. 環境方針及び環境目標、環境活動について全社員に周知するとともに、活動の取り組みを環境活動レポートとして公表します。

制定日：21年8月10日

改訂日：29年9月1日

株式会社リペア
代表取締役 植田 慎一郎

3. 環境負荷の現状

環境負荷の過去 5 年間の現状

CO2 排出量、廃棄物排出量、水使用量は原単位（排出量/売上）で平成 24 年度を基準（100%）に平成 28 年度までの実績です。

グリーン購入については、事務用品について購入した全品種のうちのエコ商品の比率です。

環境負荷項目	単位 / 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
CO2 総排出量	(kg-CO2)	29,985	26,495	29,173	24,295	23,905
CO2 排出量	原単位 (kg-CO2/百万円)	325.9	335.3	270.1	180.0	314.5
	24 年度基準比較	100%	103%	82.9%	55.2%	96.5%
総廃棄物排出量 (埋立)	t	161.5	134.6	176.9	169.9	186.0
廃棄物排出量(埋立)	原単位(t/百万円)	1.8	1.7	1.6	1.26	2.4
	24 年度基準比較	100%	94.4%	88.8%	70%	133%
総排水量	m ³	55	55	57	54	41
水使用量	原単位(m ³ /百万円)	0.60	0.70	0.53	0.40	0.54
	24 年度基準比較	100%	116.7%	88.0%	66.6%	90%
グリーン購入 (事務用品)	エコ商品/全品種	10/35	15/31	10/23	10/31	9/14
	毎年購入率 50%	29%	48%	43%	32%	64%

※二酸化炭素排出量の購入電力排出係数は平成 22 年度 0.628 kg-CO2/kWh(中国電力)で算出

各環境負荷項目とも、売上原単位での負荷の現状は基準年度より、毎年輕減されている傾向にあります。

4. 5ケ年環境目標（H25年度～H29年度）

CO2 排出量・廃棄物排出量・水使用量の総量は平成 24 年度（基準年度）より毎年 1％ずつ削減、グリーン購入については、購入全品種数に対し、50%のエコ商品の購入が出来るよう目指します。

			基準年度 24年度実績 (H239～H248)	目 標				削減目標	
									当年度
									中長期最終
				25年度 (1%削減)	26年度 (2%削減)	27年度 (3%削減)	28年度 (4%削減)		29年度 (H289～H298) (5%削減)
二酸化炭素 排出量の削減	電力	使用量(kWh)	10,810	10,702	10,594	10,486	10,378	10,270	平成24年度比 5%/年 削減
		CO2排出量 (kg-CO2)	6,789	6,721	6,653	6,585	6,517	6,449	
	ガソリン	使用量(ℓ)	2,706	2,679	2,652	2,625	2,598	2,571	
		CO2排出量 (kg-CO2)	6,282	6,219	6,156	6,094	6,031	5,968	
	軽油	使用量(ℓ)	6,445	6,381	6,316	6,252	6,187	6,123	
		CO2排出量 (kg-CO2)	16,914	16,745	16,576	16,407	16,237	16,068	
	二酸化炭素排出量の合計 (kg-CO2)		29,985	29,685	29,385	29,085	28,785	28,485	
廃棄物排出量の削減 (t)			161.0	159.4	157.8	156.2	154.6	153.0	平成24年度比 5%/年 削減
水使用量の削減 (m3)			55.0	54.5	53.9	53.4	52.8	52.3	平成24年度比 5%/年 削減
事務用品のグリーン購入 (購入エコ商品数/購入全品種数)			10/35	15/31	*50%	50%	50%	50%	購入全品種数に対し て50%のエコ商品数

*中長期計画内の購入電力のCO2排出係数は平成22年度値で固定します。

*購入電力量からのCO2排出係数は中国電力の数値0.628 kg-CO2/kWhを使用しました。

*弊社では化学物質の使用はありません。

●環境に配慮した活動として●

収集運搬車両の燃費向上を目的として毎年年間の燃料使用量を収集し、次年度へ向けての策定を毎年実施します。

☆脱着装置付コンテナ専用車 3 台は Nox/PM 適合車です。

5. 環境活動計画（H28.9～H29.8）

【目標達成スケジュール】

環境目標	責任者	目標達成手段	スケジュール											
			H28年				H29							
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
電気使用量の削減	八代	グリーンカーテンの設置（温湿計をおき、冷却効果を確認する）										○	○	○
		空調温度設定を（夏季28℃冬季20℃）を心がける（事務所）	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○
		不要時の照明器具の消灯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		エアコンの定期清掃		○		○		○		○		○		○
自動車燃料の削減	植田慎	運行コースの見直し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		アイドリング・急加速・急停車の禁止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		燃料使用量のデータの記録（燃費管理）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		車両点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リサイクル率の向上	植田慎	廃棄物の搬入品チェック	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		排出者への分別の提案・弊社での分別指示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水使用量の削減	八代	毎日の手洗い等の節水を心がける	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2ヶ月毎使用量のおしらせの確認にて増加の抑制		○		○		○		○		○		○
		洗車水の節水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事務用品のグリーン購入	八代	エコ商品の優先購入	随 時											
社会貢献	植田慎	年1回の町内清掃参加									○			

6. 今年度の実績と評価 (H28.9~H29.8)

【1】今年度の実績（電力使用量・ガソリン・軽油使用量・廃棄物排出量（埋立）・水道使用量）

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計	kg-CO2
電力	kWh	755	700	722	828	1094	1077	877	761	714	695	851	922	9996	6277
ガソリン	L	178	199	178	223	164	179	221	175	152	205	181	308	2363	5486
軽油	L	398	551	188	343	378	148	320	340	201	425	247	335	3874	10167
															21930
廃棄物	t	9.55	17.0	8.5	6.05	5.0	17.0	16.0	10.0	8.5	5.25	12.35	5.0	120.2	
水道水	m³	1.5	1.0	1.0	4.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0	4.0	3.5	31	

購入電力のCO2 排出係数は平成 22 年度 0.628 kg-CO2/kWh で算出

【2】今年度の目標達成状況

環境負荷項目	24 年度 基準年度	29 年度目標	29 年度実績	評価
CO2 排出量	29,985	28,485	21,930	◎
(kg-CO2) 達成率	100%	平成 24 年度より 5%削減	137%	
廃棄物排出量 (t)	161.45	153.0	120.2	◎
(埋立) 達成率	100%	平成 24 年度より 5%削減	134%	
水使用量(m³)	55	52.3	31.0	◎
達成率	100%	平成 24 年度より 5%削減	177%	

●CO2 排出量●

基準年度 5%削減に対し、約 27%の削減で達成となりました。

ガソリン車 1 台はほぼ毎日（日除く）70 km以上走行を 1 年間しているので前年度より増加していますが、軽油使用のトラックの長距離走行が減少したので排出量も減少しました。

来期の中長期目標としては、毎日使用する一般廃棄物処理用のパッカー車を低燃費車に買い替えることを実現したいです。

毎年のデータをとっていくことで気づきましたが、やはり夏季より冬季の電力の消費が多いことが確認できました。来期にむけて冬季の電力が抑えられるよう検討します。

●廃棄物排出量●

基準年度 5%の削減目標に対し、約 25%の削減で達成となりました。

ガラスくずを出来るだけ選別し、リサイクル業者へ引き渡すことができました。

来期も率先して取り組みます。

●水使用量●

基準年度 5%削減に対し、約 44%の削減で達成となりました。

達成はしましたが、冬季の凍結による水道管の破裂が2か所ありました。老朽化が原因である為、未然に防げるよう定期的なチェックが必要であることが来期の課題となりました。

環境負荷項目	24 年度 基準年度	29 年度目標	29 年度実績	評価
グリーン購入 購入率（エコ商品/全品種）	29%	50%	80%	◎
		毎年 購入率 50%		

●グリーン購入

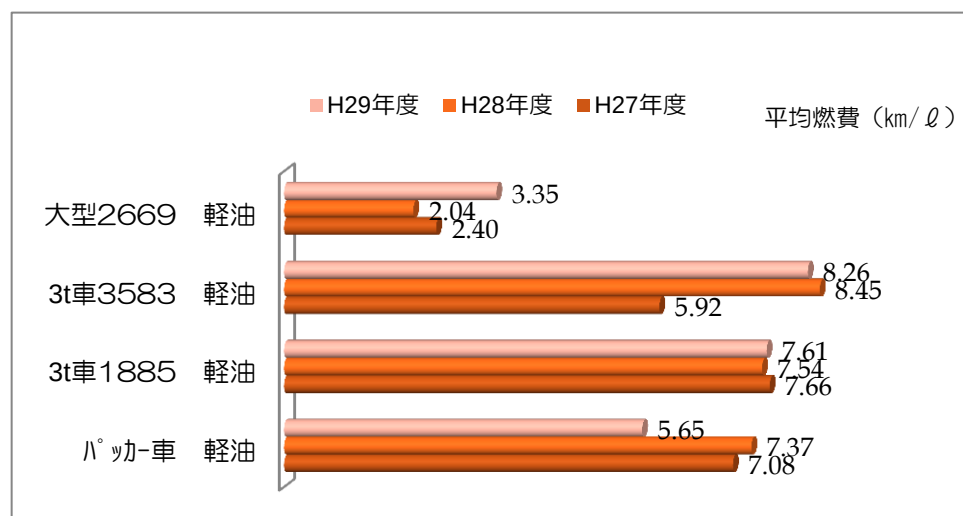
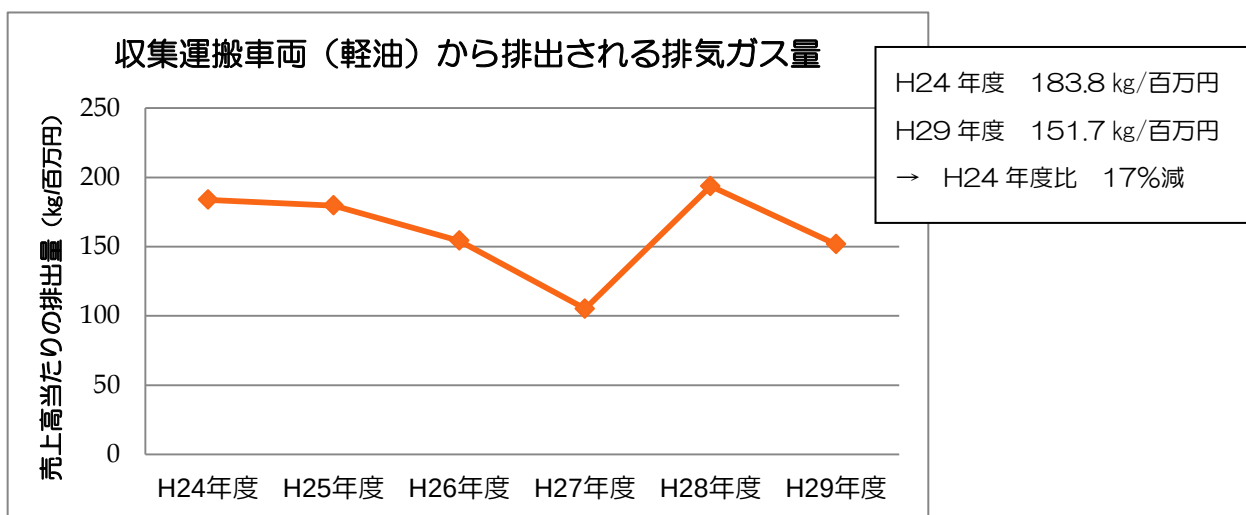
毎年購入率 50%に対し、80%で達成できました。

購入品の選定に以前より時間をかけて選定したことで結果をだすことができました。

【3】収集運搬車両の燃料使用量の把握

各収集運搬車両の走行距離・給油量のデータに基づき燃費の調査をしました。

以下に実施結果をグラフに示します。



8.今年度の環境活動計画の取組の評価と次年度の取組

環境目標	取組内容	取組実施状況	評価	次年度の取組	担当者
二酸化炭素排出量の削減	グリーンカーテンの設置（温湿計をおき、冷却効果を確認する）	○	前年度よりプランタの数を減らして実施。設置場所に関しては、茂りもあり、冷却効果あり	事務所の建物はプレハブなのでグリーンカーテンで冷却効果を期待するには、室内のすべての窓をグリーンカーテンで覆わないと本来の目的は達成しないのではないかと感じました。壁や窓の遮熱対策の方がメリットがありそうなので次年度にて対策を検討します。	八代
	空調温度設定を（夏季28℃冬季20℃）を心がける（事務所）	○	心がけは良好ですが、冬季のエアコン使用量が気になります	継続	八代
	不要時の照明器具の消灯	○	声かけにより効果あり	継続	全員
	エアコンの定期清掃	○	常にフィルター清潔維持	継続	八代
	運行コースの見直し	○	無駄のない走行と言えます	継続	植田慎
	アイドリング・急加速・急停車の禁止	○	常に心がけました	継続	植田慎
	燃料使用量のデータの記録（燃費管理）	○	月初と月末の走行距離メータの記録をしました。長距離走行が減少したため、売上高あたりの排出量も減少しました	長距離走行が減少したので燃費の向上はなかったですが、データをとることで確認ができるので次年度も継続します	植田由
	車両点検	○	毎日車両発進時点検しました	継続（車検時にはタイヤ・部品等の耐久にも着目必要）	植田慎
廃棄物量の削減（リサイクル率の向上）	廃棄物の搬入品チェック	○	埋立量削減に反映しています	継続	植田慎
	排出者への分別の提案・弊社での分別指示	○	分別の提案によりお客様にメリットのある収集になっています	継続	植田慎
	リサイクル先の新規開拓	○	リサイクル先へのアプローチによりリサイクルが実現	長期的な課題ですが費用とのバランスを考慮し、継続的に模索し取り組みます。	植田慎
水使用量の削減	毎日の手洗い等の節水	○	声かけにより効果あり	継続	全員
	洗車水の節水	○	声かけにより効果あり	継続	八代
グリーン購入	エコ商品の優先購入	○	エコ商品を最優先	今後もエコ商品を最優先で購入します。	八代
教育訓練	緊急事態での対応訓練の実施	△	未実施、全員で実施する訓練が必要	全員参加型の訓練実施を心がけます。	全員
社会貢献	町内清掃の参加	△	地域の方々とのコミュニケーションが図れました	町内清掃は年1回参加しましたが、自主的な清掃活動においては周辺の草取りしか実施しなかったためゴミ拾いや溝掃除にも取組み、周辺地域の美化に努めたいと思います。	全員

○・・・目標達成、取組実施あり、効果あり

△・・・目標達成、取組実施あり、効果期待

×・・・目標未達成、取組実施あり、効果なし

9. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

関連法規名称	遵守事項		チェック
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業 岡山市第4003号	一般廃棄物実務管理者講習 受講	☑
		収集・運搬業の許可の更新	☑
		収集運搬車両への表示	☑
		収集・運搬の基準の遵守	☑
		一般廃棄物状況報告書	☑
	産業廃棄物収集運搬業 岡山市 第8310012452号 岡山県 第3301012452号 兵庫県 第2804012452号	産業廃棄物収集・運搬更新 受講	☑
		収集・運搬業の許可の更新	☑
		収集・運搬車両への表示・書面備え付け	☑
		収集・運搬管理帳簿の作成・保存・報告	☑
		廃棄物の積み替え保管場所の管理・掲示板の表示	☑
		マニフェストの管理	☑
		客先との委託契約書の管理	☑
循環型社会推進 基本法	廃棄物の排出抑制		☑
	廃棄物の循環資源としての利用促進		☑
グリーン購入法	環境物品等購入の推進		☑
計量法	主任計量者講習		☑
	計量器の定期点検		☑
	計量証明事業者報告書の提出		☑
道路交通法	交通ルールの厳守		☑
消防法	火災の予防 消火器の定期点検		☑

2. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

平成 29 年度の環境関連法規遵守状況の確認において環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局より違反等の指摘は過去 5 年間ありません。

10. 代表者による全体の評価と見直し

【1】全体の評価

二酸化炭素排出量は基準年度からは、大幅に削減できているが、原単位にすると若干ではあるが増加していました。原因としては、出向者のガソリン車の走行距離の増加でした。次期中長期計画としては積極的に排出ガスを規制した車に替えていくことを念頭におき、抑制に努めていきます。電力使用量は前年度から気になっていますが冬季の暖房使用量を減少できるよう検討していきたいです。

廃棄物排出量は、埋立産業廃棄物の削減に努めており、リサイクル率 100%を目指していますが、今年度はガラスのリサイクル先が見つかり、埋立のものを抑制することができました。今後も廃プラスチックについても同様にリサイクル 100%を目指し検討しながら廃棄物抑制に尽力します。

水使用量は前年度同様人数の減少による達成状況です。今後も節水を継続し、日々心がける様全員に周知します。

グリーン購入は購入先の拡充をはかり、品質・価格を吟味しながら、エコ商品の購入が来ています。コスト面の兼ね合いもありますが、出来る限り再生できるものを使用していきたいです。

環境活動の取組として、地域の清掃に年 1 回参加していますが、事業所の周辺等気づいたときには随時ゴミ拾い等な活動を行う様社員全員で取り組みます。

【2】全体の見直し

① 環境目標の達成状況

平成 29 度はすべて達成することができました。

② 環境活動計画の実施及び運用結果

環境目標の達成できた項目については良好と言えます。未達成の項目（取組評価が△あるいは×）については P11 の次年度の取組を実施。

③ 環境関連法規等の遵守

平成 29 年度の環境関連法規への違反はありませんでした。今後もインターネットや産業廃棄物協会関連の情報等にて、確認と遵守を定期的に行います。

④ 外部からの環境に関する苦情や要望

ありませんでした。今後も地域の方々に貢献できる組織づくりを形成していきます。

【3】次年度の環境経営システムの検討

評価及び見直しの結果

◎環境方針

◎環境目標

◎環境活動計画

◎環境経営マニュアル



中長期計画終えたので
基準年度改訂し目標値を
設定します。